平成２９年度　第２回廿日市市総合戦略推進会議

１．日時

平成３０年３月２６日（月曜日）１４時００分から１５時３０分まで

２．場所

廿日市市役所　７階会議室

３．次第

１　開　　会
２　座長挨拶
３　報　　告
(1)　平成２９年度総合戦略推進会議において効果検証を行った事業の今後の取組について
４　議　　事
(1) 廿日市市まち・ひと・しごと創生総合戦略の改訂について
５　閉　　会

４．会議での主な意見

報告

●平成２９年度総合戦略推進会議において効果検証を行った事業の今後の取組について

（委 員）１Ｐの新規就農者の育成について、就農希望者の申込み時期が限定されているケースがある。受け入れ態勢の時期や回数の自由度が高いと就農しやすいのではないか。

（委 員）就農により生活を営める収入があるという点を見せていく必要がある。

（委 員）５Ｐに記載してある今後の取組予定の中に“ＰＲ”という言葉が多く使われている。“ＰＲ”という言葉には相手との関係性を築くという意味があり、相手と共になにか作ろうというものである。“発信“との使い分けがあいまいである。

（委 員）家族経営を行っている事業者もイクボス同盟に加入することは可能であると思う。

（委 員）イクボス同盟について、企業側に目に見えるメリットがありかつ加入するハードルが低いのであれば、総合戦略に掲げている項目としてもっと推進していくべきである。

（委 員）市内の工場へ企業訪問を行ったとしても、本社が他市町にあるケースがあり、工場自体ではイクボスへの加入について判断しにくい部分がある。そのため、市内に本社がある企業から訪問するとよい。

議事

●廿日市市まち・ひと・しごと創生総合戦略の改訂について

（委 員）廿日市市に中間支援組織をつくり、移住・定住希望者を一元的に受け付けることで、それぞれのニーズにあった市内の地域を紹介できるのではないか。

（事務局）廿日市市に移住を希望される方の大きな傾向は、起業創業や就農の意向が強い傾向がある。ターゲットにあった手法が必要であるという仕分けとなっている。

（委 員）個性や能力を最大限に伸ばすために安心安全な環境づくりを推進すると記述してあるが、具体的にどのような事業を考えているのか。

（事務局）空調設備の設置による熱中症予防や学校給食設備事業による食のアレルギー対策などである。

（委 員）「最大限に伸ばす」という言葉を使うと少し言いすぎているのではないか。

（事務局）表現の修正を検討する。

（委 員）１９ＰのＫＰＩ変更について、なぜ少人数の開催形式から変更したのか。

（事務局）従来の教室はハイリスクな方を対象として開催していた。
現在は、多くの方が参加できるようリスクが低い方も対象とすることで、全体としてのリスクを下げていこうと考えている。

（委 員）２２Ｐに記載の「あわせ技」とはどのような意味なのか

（事務局）各集落に無い日常生活に不可欠な施設等を交通ネットワークでつなぎ補完するという意味である。

（委 員）協働により事業展開できる仕組みづくりはまだ出来ていないのではないか。

（事務局）認識の違いがあるかもしれないので、担当所属と再度調整を行う。